令和４年度

さくらがわ地域医療センター

事業実績報告書

令和４年４月１日～令和５年３月３１日

令和５年６月

医療法人隆仁会

目 次

１　総括 1
２　診療実績 2
３　人員体制 5
４　救急診療体制 7
５　地域医療機関との連携・支援、地域医療の質向上のための取組 7
６　健康診断・人間ドック等の実施 9
７　各種委員会の開催 10
８　施設管理 11
９　その他 13
１０　収支実績 16

１　総括

令和４年度は、昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症への感染対策を行いつつ、指定管理者制度の機動性を活用し、円滑な診療体制の構築に取り組みました。

人員体制については、年度を通して概ね安定した人員配置を行うことが出来ました。医師については、昨年度、常勤２名の退職のあった整形外科を中心に招聘活動を行いました。年度内での採用には至りませんでしたが、複数名の非常勤医師を採用した診療体制にて対応致しました。人数の少ない有資格の職種については、欠員時に中途採用にて、定数維持に努めました。

診療面については、一般患者への診療を行いながら、新型コロナウイルス感染症患者及び感染疑い患者の対応を行いました。感染が拡大している時期や多くの医療機関が休診となる大型連休の際は、桜川市及び市内医師会の先生方のご協力を得て休日診療を実施し、身近な医療の提供と初期救急体制の確立に努めました。また、入院については一般病床の一部にて新型コロナウイルス感染症受入病床（即応病床４床・休止病床４床）を設置し、軽症及び中等症の陽性患者を中心とした入院診療を行いました。

経営面については、新型コロナウイルス感染症受入病床の設置に伴う一般患者の入院制限や病棟内での新型コロナクラスターの発生により、病床稼働率の減少に伴う、入院収益の減少、医業利益の減益となりましたが、臨時収益（新型コロナウイルス感染症入院受入に対する補助金等）により純利益については前年度を上回る結果となりました。

2　診療実績

（1）外来診療実績

外来診療については、内科、小児科、外科、整形外科を中心とした診療を行いました。また、一般診療の他、新型コロナウイルス感染症に対する診療に努めました。患者数についてはコロナ禍前の水準まで回復し、昨年度と比べ増加となりました。

ア　外来患者数

診療科	令和4年度		（参考）令和3年度	
	延患者数	平均患者数／日	延患者数	平均患者数／日
内科	22,735	77.3	20,682	70.8
外科	8,244	28.0	8,056	27.6
整形外科	15,882	54.0	17,083	58.5
小児科	6,026	20.5	4,853	16.6
眼科	7,425	25.3	7,262	24.9
耳鼻咽喉科	2,154	7.3	1,943	6.7
泌尿器科	2,574	8.8	2,283	7.8
皮膚科	3,009	10.2	2,874	9.8
婦人科	1,588	5.4	1,464	5.0
計	69,637	236.8	66,500	227.7

イ　（再掲）発熱外来患者数（新型コロナウイルス感染症患者及び疑い患者数）

日付	患者数				PCR検査数	
	成人	小児	計	うちﾒﾃﾞｨｶﾙﾁｪｯｸ	件数	うち陽性
2022年4月	425	340	765	4	707	101
2022年5月	249	333	582	5	522	71
2022年6月	163	323	486	5	435	22
2022年7月	474	409	883	7	841	271
2022年8月	914	423	1337	3	1085	571
2022年9月	362	429	791	2	570	198
2022年10月	275	393	668	1	448	139
2022年11月	501	415	916	2	688	280
2022年12月	781	564	1345	5	1051	511
2023年1月	615	407	1022	1	730	311
2023年2月	237	331	568	0	349	45
2023年3月	171	328	499	0	268	119
合計	5,167	4,695	9,862	35	7,694	2,639

ウ　外来診療体制

（ア）期首　【 R4.4.1 】

	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
外科	○	○	○				○	○	○	○	○	
整形外科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
小児科	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
眼科	○	○	○	○			○	○	○	○	○	
耳鼻咽喉科				○							○	
泌尿器科					○						○	
皮膚科	○										○	
婦人科									○	○		

（イ）期末　【 R5.3.31 】

	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	
外科	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
整形外科	○	※	○		○	○	○	○	○	○	○	
小児科	○	○	○		○	○	○	○	○	○		
眼科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
耳鼻咽喉科				○							○	
泌尿器科			○		○						○	
皮膚科	○										○	
婦人科									○	○		

※第４週のみ（専門外来）

（２）入院診療実績

新型コロナウイルス感染症の流行拡大により、一般病棟にて新型コロナウイルス感染症受入病床（即応病床４床、休止病床４床）を確保しました。新型コロナウイルス感染症受入病床の確保や院内でのクラスターの発生により、入院患者数については減少となりました。

ア　診療科別入院患者数

診療科	令和4年度		（参考）令和3年度	
	延患者数	平均患者数／日	延患者数	平均患者数／日
内科	18,469	50.6	20,088	55.0
外科	4,381	12.0	7,870	21.6
整形外科	7,787	21.3	5,211	14.3
眼科	385	1.0	567	1.5
計	31,022	84.9	33,736	92.4

イ　病床別入院患者数及び病床利用率

項目		延患者数（人）	平均患者数（人／日）	令和4年度 病床利用率	（参考）R3年度 病床利用率
一般病床（80床）		14,543	39.8	49.8%	58.2%
	一般（70床）	12,163	33.3	47.6%	56.8%
	包括ケア（10床）	2,380	6.5	65.2%	67.6%
療養病床（48床）		16,479	45.1	94.1%	95.6%
計		31,022	84.9	66.3%	72.2%

（3）手術実績

昨年同様、外科、整形外科、眼科を中心とした手術を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、手術件数については昨年度と同水準の件数となりました。

診療科	令和4年度		（参考）令和3年度	
	外来	入院	外来	入院
内科	8	2	31	2
外科	90	378	96	386
整形外科	181	214	215	239
耳鼻咽喉科	63	0	28	0
眼科	68	383	75	349
皮膚科	4	0	14	0
泌尿器科	0	0	0	0
婦人科	12	0	3	0
計	426	977	462	976

３　人員体制

人員配置計画に基づいた人員体制の確保に努めました。昨年度より欠員の生じている常勤整形外科医については年度内での採用には至りませんでしたが、非常勤医を採用し、診療体制を構築しました。また、常勤麻酔科医が退職となりましたが、翌年度（令和５年度）より勤務可能な常勤医を確保しました。

（１）　医師数　　＊期末　【R5.3.31】

診療科	令和4年度		（参考）令和3年度	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤
内科	4	9	4	8
外科	2	3	2	2
整形外科	1	7	1	5
小児科	2	1	2	1
眼科	0	6	0	5
耳鼻咽喉科	0	2	0	2
泌尿器科	0	3	0	2
皮膚科	0	2	0	2
婦人科	0	1	0	1
麻酔科	0	2	1	1
健診・その他	1	0	1	3
計	10	36	11	32

（２）　看護職員数　　＊期末　【R5.3.31】

診療科	令和4年度		（参考）令和3年度	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤
看護師	54	4	53	5
准看護師	14	5	14	4
計	68	9	67	9

（3）　人員数推移

職種	期首(2022年4月1日)					期末(2023年3月31日)				
	常勤	非常勤		合計		常勤	非常勤		合計	
		実人数	常勤換算	実人数	常勤換算		実人数	常勤換算	実人数	常勤換算
医師	10	36	5.4	46	15.4	10	36	5.4	46	15.4
看護師	58	4	2.9	62	60.9	54	4	2.8	58	56.8
准看護師	13	5	3.1	18	16.1	14	5	3.1	19	17.1
看護助手(MA)	1	3	1.9	4	2.9	1	3	1.9	4	2.9
介護福祉士	3	4	2.7	7	5.7	4	4	2.8	8	6.8
介護士	3	3	2.7	6	5.7	3	3	2.7	6	5.7
管理栄養士	3	0	0.0	3	3.0	3	0	0.0	3	3.0
栄養士	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0.0	0	0.0
放射線技師	8	0	0.0	8	8.0	8	0	0.0	8	8.0
社会福祉士	0	0	0.0	0	0.0	3	0	0.0	3	3.0
理学療法士	5	0	0.0	5	5.0	5	0	0.0	5	5.0
臨床検査技師	5	0	0.0	5	5.0	5	0	0.0	5	5.0
視能訓練士	3	0	0.0	3	3.0	3	0	0.0	3	3.0
薬剤師	4	0	0.0	4	4.0	4	0	0.0	4	4.0
調剤事務	1	0	0.0	1	1.0	1	0	0.0	1	1.0
事務(管理部門)	4	0	0.0	4	4.0	3	0	0.0	3	3.0
事務(医事/医師事務部門)	17	13	7.2	30	24.2	15	14	8.1	29	23.1
事務(健診部門)	1	3	2.3	4	3.3	1	4	3.2	5	4.2
調理師	1	1	1.0	2	2.0	1	1	1.0	2	2.0
調理補助	1	7	4.4	8	5.4	1	7	4.4	8	5.4
環境整備	0	5	4.3	5	4.3	0	5	4.3	5	4.3
保育士	0	3	1.4	3	1.4	0	3	1.4	3	1.4
用務(送迎係)	0	4	3.4	4	3.4	0	4	3.4	4	3.4
用務(施設管理)	0	1	1.0	1	1.0	0	1	1.0	1	1.0
合計	141	92	43.7	233	184.7	139	94	45.5	233	184.5

4　救急診療体制

救急搬送患者については、昨年同様、軽症、中等症患者を中心とした受入を行いました。搬送件数については昨年度（328 件）より減少となりました。ウォークインの救急来院患者については、昨年度（722 人）より増加となりました。

区分＼月別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	1日当り
救急搬送		21	16	29	25	20	15	26	9	23	19	22	25	250	0.7
	軽症	12	8	13	11	9	5	10	5	8	7	12	11	111	0.3
	中等症	8	7	15	13	11	10	15	4	15	12	10	14	134	0.4
	重症	0	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	4	0.0
	死亡	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
来院		64	93	81	127	150	60	65	43	122	178	72	53	1,108	3.0
	軽症	49	59	58	87	138	45	46	36	61	157	58	38	832	2.3
	中等症	11	17	19	18	12	13	18	5	19	20	11	15	178	0.5
	重症	0	1	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	5	0.0
	死亡	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0
	その他	3	16	3	21	0	2	0	2	42	0	3	0	92	0.2
計		85	109	110	152	170	75	91	52	145	197	94	78	1,358	3.7
1日当り		2.8	3.5	3.7	4.9	5.5	2.5	2.9	1.7	4.7	6.4	3.4	2.5	3.7	

5　地域医療機関との連携・支援、地域医療の質向上のための取組

（1）　地域医療機関との連携

市内外の医療機関・介護施設からの紹介受診・入院の調整を行いました。クリニック・介護施設等からの相談は、精査治療・入院加療が多く、病院からの相談は外来受診、入院受入の依頼を受けました。

今年度は、茨城県医療提供施設等グループ化推進事業の取組がなされ、桜川市保健福祉部高齢福祉課の後援にて、市内の地域医療機関及び居宅介護支援事業所等と症例検討会をリモート会議にて開催し、地域連携機関相互の密接な連携と協力の促進を図ることができました。

また、新たな取組として市内外の医療機関・介護施設を直接訪問し、対面にて各担当者と地域連携・協力のための情報共有をしてまいりました。

ア　紹介された主な医療機関と人数

医療機関名	人数	医療機関名	人数
茨城県西部メディカルセンター	63	自治医科大学附属病院	22
田崎内科医院	58	仁保内科医院	20
けんせいクリニック	27	筑波メディカルセンター病院	16
阿部田医院	26	平島医院	16
茨城県立中央病院	25	その他病院・開業医・クリニック等	838
		合計	1,111

イ　アのうち転入院した人数

医療機関名	人数	医療機関名	人数
茨城県西部メディカルセンター	42	自治医科大学附属病院	3
茨城県立中央病院	12	阿部田医院	2
田崎内科医院	7	協和中央病院	1
仁保内科医院	4	筑波大学附属病院	1
筑波記念病院	3	その他病院・開業医・クリニック等	37
		合計	112

ウ　紹介した主な医療機関と人数

医療機関名	人数	医療機関名	人数
茨城県立中央病院	147	協和中央病院	43
茨城県西部メディカルセンター	102	吉原医院	17
筑波大学附属病院	67	仁保内科医院	17
自治医科大学附属病院	58	田崎内科医院	15
筑波メディカルセンター病院	53	その他病院・開業医・クリニック等	463
		合計	982

（2）　茨城県西部メディカルセンターとの医療連携

今年度も2病院の病病連携を図る為、医療連携部門の実務者で構成した「2病院医療連携会議」を毎月リモートにて開催しました。西部メディカルセンターから、当院への包括ケア病棟への転院相談を中心に、両病院間の連携強化と円滑な運営に取り組みました。

紹介患者数	63 件
逆紹介患者数	102 件

（3）　地域医療の質向上のための取組

茨城県内の医療機関を対象に各団体・協会を通じた研修会を実施しました。その他、市民健康講座や真壁医師会で講演会や定例会等を開催しました。また、医療機器の共同利用については近隣の診療所からの紹介を中心に数多くの検査依頼に対応致しました。

ア　主な研修会・講演会等

○真壁医師会学術講演会

息切れを考えるSeminar　オンライン開催

共　　催：真壁医師会・日本ベーリンガーインゲルハイム

講　　演：塩原太一（さくらがわ地域医療センター 内科医長）

○県西喘息 SYMPOSIUM

喘息実臨床におけるトリプル治療の使い所　～隠れ喘息を見つけよう！～

主　　催：グラクソ・スミスクライン株式会社

講　　演：塩原太一（さくらがわ地域医療センター 内科医長）

○真壁医師会桜川支部定例会

計６回開催

イ　共同利用件数実績

	令和 4 年度	（参考）令和 3 年度
ＭＲＩ	845	666
ＣＴ	239	221

（４）　職場体験（インターンシップ）、病院見学、実習受入

新型コロナウイルス感染症に対する院内感染防止の観点により、受け入れを中止としました。

（５）　訪問看護事業の実施

高齢化による需要増に伴い職員の増員を行い、市内高齢者を中心としたサービス提供を行いました。利用者数は昨年度と比べ増加となりました。

	令和 4 年度		（参考）令和 3 年度	
	延利用者数	※１日平均	延利用者数	※１日平均
訪問看護利用者	5,190	14.2	4,951	13.5

※　延利用者数／365 日

６　健康診断・人間ドック等の実施

事業所による法定健康診断、全国健康保険協会（協会けんぽ）の生活習慣病予防健診・特定健康診査を中心とした健診業務を実施しました。桜川市が実施する検診（人間ドック、特定検診、骨粗鬆症健診）にも引き続き対応いたしました。

項目	令和4年度	（参考）令和3年度
	人数	人数
定期健診	746	626
協会けんぽ健診	1,516	1,361
特定健診	105	102
人間ドック	275	182
骨粗鬆症	353	378
特殊健診（塵肺、特定化学等）	33	31
その他	680	860
職員健診	211	194
計	3,919	3,734

7　各種委員会の開催

（1）　医療安全委員会と医療安全体制について

医療安全委員会、リスクマネジメント委員会を毎月１回開催し、その他医療安全に関わる医療安全推進委員会を週１回開催しました。インシデント・アクシデントレポートをもとに事例を分析し、改善策の検討及び検証を行いました。

ア　委員会の開催

医療安全管理委員会開催回数	12 回
リスクマネジメント委員会開催回数	12 回
医療安全推進委員会開催回数	49 回

イ　アクシデント・インシデント報告件数

アクシデント報告件数	11 件
インシデント報告件数	297 件

（2）　院内感染対策委員会

新型コロナウイルス感染症への対応を中心とした定期的な委員会を開催し、クラスター発生時は臨時の対策会議を開催しました。院内感染対策委員会の下部組織である院内感染リンクスタッフ委員会においては、感染制御チーム（ＩＣＴ）のラウンドの内容をもとに院内の感染対策の徹底を図りました。

ア　委員会の開催

院内感染対策委員会開催回数	17 回

※臨時開催を含む。

イ　感染制御チーム（ＩＣＴ）による院内ラウンド

院内ラウンド実施回数	50 回

ウ　新型コロナウイルス感染症にかかる会議・研修会等への参加

○第１回筑西保健所管内新型コロナウイルス感染症対策連絡会議（オンライン会議）
　開 催 日：令和４年４月２３日（水）
　主　　催：茨城県筑西保健所
○第２回筑西保健所管内新型コロナウイルス感染症対策連絡会議（オンライン会議）
　開 催 日：令和４年７月２２日（金）
　主　　催：茨城県筑西保健所
○第３回筑西保健所管内新型コロナウイルス感染症対策連絡会議（オンライン会議）
　開 催 日：令和４年８月３０日（火）
　主　　催：茨城県筑西保健所
○第４回筑西保健所管内新型コロナウイルス感染症対策連絡会議（オンライン会議）

開 催 日：令和４年１２月５日（月）
主　　催：茨城県筑西保健所

○第５回筑西保健所管内新型コロナウイルス感染症対策連絡会議（オンライン会議）
開 催 日：令和４年１２月２１日（水）
主　　催：茨城県筑西保健所

○新型コロナウイルス感染症入院受入医療機関ＷＥＢ連絡会議
開 催 日：令和４年１２月１３日（火）
主　　催：茨城県保健医療部医療局医療政策課、茨城県医師会

○新型コロナウイルス感染症入院受入医療機関ＷＥＢ連絡会議
開 催 日：令和５年１月１６日（月）
主　　催：茨城県保健医療部医療局医療政策課、茨城県医師会

○新型コロナウイルス対策合同会議
開 催 日：令和５年１月２０日（金）
主　　催：茨城県医師会

○第６回筑西保健所管内新型コロナウイルス感染症対策連絡会議（オンライン会議）
開 催 日：令和５年３月２４日（金）
主　　催：茨城県筑西保健所

８　施設管理

（１）　施設等の保守・点検（医療機器含む）

公立病院の指定管理者として、施設等の保守・点検（医療機器含む）に関する法令やその他の基準等に沿った方法によって保守・点検を行いました。

ア　建物及び建物付属設備の主な保守点検項目
高圧電気及び自家発電設備、消防設備及び防火対象物設備、医療ガス供給設備
浄化槽設備、昇降設備、自動ドア設備 等

イ　医療機器等
Ｘ線撮影機器（ＣＴ、一般撮影装置等）、磁気共鳴撮影機器（ＭＲＩ）、臨床検査機器
内視鏡機器（胃・大腸・膀胱）、超音波診断装置 等

（２）　施設等の修繕・改良等

ア　病院施設

１）１階 CPU 室の室内熱交換器よりガス漏れがあったため、熱交換器の交換とフロンガスの再充填を行いました。

２）2階系統　室外機のインバータ基板が原因による起動不良が発生したため、基板交換を行いました。

３）受水槽の水位センサー故障のため、センサーの交換作業を行いました。

４）蒸気ボイラー缶体より水漏れが確認されたため、缶体交換を行いました。

イ　医療機器、システム等

１）２階手術室内洗浄エリアに設置したベッドパンウォッシャー（高圧洗浄機）のバルブ劣化による水漏れ及び蒸気漏れ、電磁弁劣化による給湯量減少のため、修理による修繕を行いました。

２）内視鏡システムの光源装置のコネクター部の故障により、映像不良のため、コネクター部のユニット交換を行いました。

３）システム間のデータ処理の高速化のため、インターフェースサーバのメモリ増設を行いました。

９　その他

（１）　市民への情報公開や病院運営に関する市民参加の推進について

新型コロナウイルス感染症への対応や診療に関する情報については院内での掲示やホームページ等での情報提供を行いました。市民への健康講座や職場体験・インターンシップについては受け入れを中止としました。

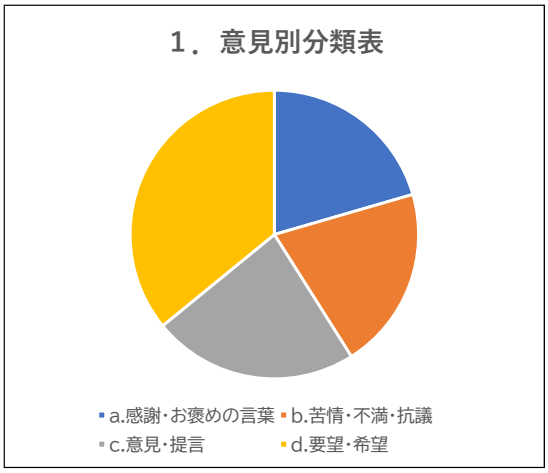
ア　情報発信方法

ホームページ、院内掲示、会議等への参加

イ　ご意見箱の内容・件数

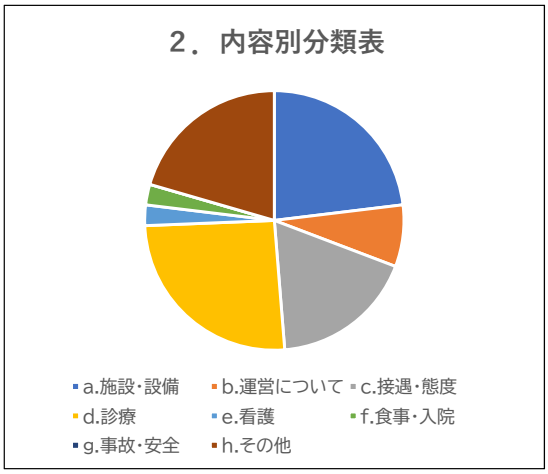
１）ご意見の分類

内容	件数
a. 感謝・お褒めの言葉	8
b. 苦情・不満・抗議	8
c. 意見・提言	9
d. 要望・希望	14
計	39



２）ご意見の内容

内容	件数
a. 施設・設備	9
b. 運営について	3
c. 接遇・態度	7
d. 診療	10
e. 看護	1
f. 食事・入院	1
g. 事故・安全	0
h. その他	8
計	39



（２）　患者及び来院者へのサービス提供

送迎車４台によるドア to ドアの送迎サービスを実施しました。昨年度と比べ利用者数はやや減少となりました。

ア　無料送迎利用者数

項目	令和4年度	（参考）令和3年度
送迎利用者数	8,508	9,182
＊１日当りの利用者数	29.1	31.4

※迎え、送り、それぞれ１件とした合算件数

（３）窓口職員等の接遇について

接遇（窓口対応・電話対応）関する覆面調査及び職員への接遇意識調査を行いました。調査後は報告書をもとに課題点を共有し、接遇向上に向けた取り組みを実施しました。

＊覆面調査：匿名による電話での調査、調査員の来院による５項目（身だしなみ・挨拶・表情・姿勢・言葉遣い）の調査
＊接遇意識調査：職員が日頃、どのような接遇を意識しながら患者対応や業務を行っているかを調査し、弊害となる考えを抽出し接遇研修の資料に反映することを目的に実施

ア　接遇の覆面調査結果

今回の調査結果は、前回調査結果より－0．２ポイント評価が下がる結果となりました。要因としては、「挨拶」、「言葉づかい」の項目が評価を大きく下げており、挨拶については「挨拶の言葉が聞こえない」「笑顔の印象がない」など第一印象で良い印象を残せておらず、「言葉づかい」については、ラフな言葉づかいが第三者から見て馴れ馴れしさの印象を与えたことが評価を落とした要因です。「思いやりの優しい心」「相手を大切に思っている気持ち」は、外面に表れる立ち居振る舞いから感じ取られ、自身の所作がどのような印象につながるのか改めて理解する必要があるため、研修会の実施及び接遇チェックシートを活用した日々の意識づけに取り組みました。

イ　接遇意識調査結果

接遇に対し「課題がある」と回答した職員が約6割と、問題意識を持っている職員が半数以上おり、現状維持ではなく改善に取り組まなければならないと考えている職員の意見の方が多かった。一方で、「クレームがなければ取り組む必要がない」「現状で良い」という意見もあり、高い目標をもって業務を行っている職員と、そうではない職員との間にマナー等の共通認識が大きく乖離していた。接遇は他者評価であり個人の意識だけでは改善が難しいため、職員間の良好なコミュニケーションを整えることを第一に、病院全体として接遇を認め合い向上させる風土を作りに取り組みました。

ウ　外部講師による接遇研修会の実施

接遇覆面調査及び接遇意識調査結果をもとにした院内研修会を実施しました。

（４）災害時体制の見直しと招集訓練の実施

災害対策マニュアル、ＢＣＰ（事業継続計画）、災害発生時の対応についての見直しを行いました。また、震災を想定した招集訓練（安否確認を含む）を医療機関用災害対策システム（スマートフォンによる報告システム）にて実施しました。

（５）職員の健康管理について

スマートフォン等による報告可能な健康管理システムを活用し、出勤日の他、休日も含めた全職員の健康管理に努めました。勤務中に発熱等の症状がある場合には、速やかに自宅待機とし、また、職員が濃厚接触者・濃厚接触者疑いに該当する場合は、出勤前にＰＣＲ検査又は抗原定量検査を実施し、職員の健康管理と院内感染防止に努めました。

（６）保健所・厚生局等による検査状況

ア　立入検査について

令和４年１１月１０日に茨城県筑西保健所による立入検査が実施されました。行政文書による指摘事項はありませんでしたが、改善が望ましい事項として口頭にて指導・助言いただいた事項については改善に努めました。

イ　施設基準に係る適時調査について

関東信越厚生局による施設基準の係る適時調査は実施されませんでした。

（７）新型コロナワクチン接種について

予防接種法に基づき、新型コロナウイルス感染症のまん延を予防するため、新型コロナワクチンの接種を行いました。接種者数は昨年度（16,278 人）と比べ大幅に減少となりました。また、市内の高齢者施設入居者や在宅療養者に対しては、医師・看護師による訪問接種を継続して実施しました。

年齢	接種形態			接種回数計
	個別接種	集団接種	＊訪問接種	
5歳～11歳	1,949	0	0	1,949
12歳以上	5,151	414	285	5,850
合計	7,100	414	285	7,799

＊施設入居者及び在宅療養者

１０　収支実績

科目	令和4年度		令和3年度		比較	
	金額（円）	対収益比	金額（円）	対収益比	金額（円）	比率
入院収益課税	8,998,668	0.4	9,955,635	0.5	△ 956,967	90.4
入院収益非課税	2,254,628	0.1	1,270,103		984,525	177.5
室料差額収益	15,703,770	0.8	18,474,830	0.9	△ 2,771,060	85.0
窓口自費収入	7,763,758	0.4	11,538,330	0.6	△ 3,774,572	67.3
保健予防活動収益	143,823,751	7.5	144,922,651	7.8	△ 1,098,900	99.2
受検査施設収益	10,237,350	0.5	7,792,654	0.4	2,444,696	131.4
社会保険収入	434,818,347	22.8	383,255,286	20.6	51,563,061	113.5
国民保険収入	275,876,522	14.4	304,543,187	16.4	△ 28,666,665	90.6
自賠責保険収入	6,698,594	0.3	6,254,075	0.3	444,519	107.1
労災保険収入	10,456,368	0.5	5,584,859	0.3	4,871,509	187.2
後期高齢者医療	982,041,374	51.5	954,965,360	51.5	27,076,014	102.8
その他医業収入	4,993,005	0.2	4,838,741	0.2	154,264	103.2
医業収益　計	1,903,666,135	100.0	1,853,395,711	100.0	50,270,424	102.7
医師給	375,733,597	19.7	384,093,885	20.7	△ 8,360,288	97.8
常勤医師	204,429,558	10.7	234,156,325	12.6	△ 29,726,767	87.3
非常勤医師	171,304,039	8.9	149,937,560	8.0	21,366,479	114.3
看護師給	351,169,671	18.4	346,986,762	18.7	4,182,909	101.2
技術員給	127,913,486	6.7	127,248,800	6.8	664,686	100.5
事務員給	105,382,899	5.5	96,647,468	5.2	8,735,431	109.0
労務員給	34,796,652	1.8	39,938,198	2.1	△ 5,141,546	87.1
退職金	897,973		2,584,551	0.1	△ 1,686,578	34.7
法定福利費	109,647,314	5.7	113,585,321	6.1	△ 3,938,007	96.5
給与費計	1,105,541,592	58.0	1,111,084,985	59.9	△ 5,543,393	99.5
期首材料棚卸高	14,723,138	0.7	20,602,648	1.1	△ 5,879,510	71.5
医薬品費	146,480,413	7.6	120,428,351	6.4	26,052,062	121.6
医療消耗器具備品費	308,005,683	16.1	251,898,153	13.5	56,107,530	122.3
給食用材料費	20,483,386	1.0	19,713,038	1.0	770,348	103.9
期末材料棚卸高	17,771,368	0.9	14,723,138	0.7	3,048,230	120.7
材料費計	471,921,252	24.7	397,919,052	21.4	74,002,200	118.6
検査委託費	42,837,820	2.2	18,508,823	0.9	24,328,997	231.4
寝具委託費	3,652,914	0.1	3,546,047	0.1	106,867	103.0
医事委託費	10,003,712	0.5	14,650,875	0.7	△ 4,647,163	68.3
保守委託費	45,341,759	2.3	42,789,200	2.3	2,552,559	106.0
委託管理費	41,903,599	2.2	46,250,621	2.4	△ 4,347,022	90.6
委託費計	143,739,804	7.5	125,745,566	6.7	17,994,238	114.3
減価償却費	15,625,318	0.8	38,976,977	2.1	△ 23,351,659	40.1
機器賃借料	16,185,576	0.8	15,963,904	0.8	221,672	101.4
地代家賃	1,966,378	0.1	3,241,550	0.1	△ 1,275,172	60.7
修繕費	9,259,976	0.4	7,224,960	0.3	2,035,016	128.2
車両関係費	1,759,437		1,794,445		△ 35,008	98.0
燃料費	6,853,511	0.3	6,291,125	0.3	562,386	108.9
設備関係費	51,650,196	2.7	73,492,961	3.9	△ 21,842,765	70.3
研修費	1,473,387		1,274,997		198,390	115.6
研究研修費	1,473,387		1,274,997		198,390	115.6
福利厚生費	3,163,536	0.1	10,629,118	0.5	△ 7,465,582	29.8
旅費交通費	30,653,478	1.6	28,675,572	1.5	1,977,906	106.9
職員被服費	311,018		888,052		△ 577,034	35.0
通信費	6,648,091	0.3	5,650,784	0.3	997,307	117.6
広告宣伝費	342,400		649,660		△ 307,260	52.7
消耗品費	18,395,402	0.9	17,889,214	0.9	506,188	102.8
消耗器具備品費	1,647,712		3,883,304	0.2	△ 2,235,592	42.4
会議費	304,863		87,253		217,610	349.4
水道光熱費	64,781,900	3.4	46,621,485	2.5	18,160,415	139.0
保険料	9,065,569	0.4	9,580,604	0.5	△ 515,035	94.6
交際費	78,873		20,409		58,464	386.5
諸会費	3,127,894	0.1	3,313,874	0.1	△ 185,980	94.4
租税公課	1,017,950		630,750		387,200	161.4
寄付金	587,000		420,000		167,000	139.8
新聞図書費	853,996		594,913		259,083	143.5
衛生管理費	24,307,793	1.2	24,791,105	1.3	△ 483,312	98.1
雑費	58,130		266,800		△ 208,670	21.8
消費税等	22,260,365	1.1	25,506,717	1.3	△ 3,246,352	87.3
経費	187,605,970	9.8	180,099,614	9.7	7,506,356	104.2
医業費用　計	1,961,932,201	103.0	1,889,617,175	101.9	72,315,026	103.8
医業利益	△ 58,266,066		△ 36,221,464		△ 22,044,602	160.9
受取利息	55		51		4	107.8
指定管理料収入	121,048,000	6.3	131,848,000	7.1	△ 10,800,000	91.8
雑収入	37,067,237	1.9	66,340,940	3.5	△ 29,273,703	55.9
医業外収益　計	158,115,292	8.3	198,188,991	10.6	△ 40,073,699	79.8
支払利息	2,162,055	0.1	3,018,861	0.1	△ 856,806	71.6
雑損失	1,567		4,577,971	0.2	△ 4,576,404	0.0
指定管理者負担金	11,945,225	0.6	8,367,187	0.4	3,578,038	142.8
医業外費用　計	14,108,847	0.7	15,964,019	0.8	△ 1,855,172	88.4
医業外利益	144,006,445	7.5	182,224,972	9.8	△ 38,218,527	79.0
経常利益	85,740,379	4.5	146,003,508	7.8	△ 60,263,129	
補助金収益	151,808,000	7.9	42,798,000	2.3	109,010,000	354.7
臨時収益	151,808,000	7.9	42,798,000	2.3	109,010,000	354.7
固定資産除却損	1,495,643		1		1,495,642	
固定資産圧縮損	15,312,000	0.8	15,312,000	0.8	0	100.0
臨時費用	16,807,643	0.8	15,312,001	0.8	1,495,642	109.8
臨時利益	135,000,357	7.0	27,485,999	1.4	107,514,358	491.2
税引前当期純利益	220,740,736	11.5	173,489,507	9.3	47,251,229	127.2